

様式3

令和5年度ふるさと人材・地域づくり推進事業  
「持続可能な地域づくり充実事業」実施報告書

学校番号	32	学校名	大曲農業高等学校	(全・定)
------	----	-----	----------	-------

実施した内容について次のとおり報告します。

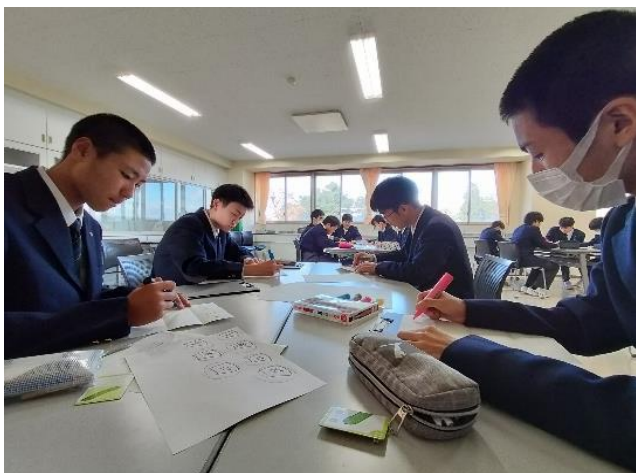
テ ー マ	ファシリテーション研修
実 施 日 時	令和5年11月21日(火) 13:20~15:00
場 所	大曲農業高等学校 農業経営実習室
参 加 人 数	生徒17名
実 施 内 容 等 ・ 状 況	<p>本事業の一つである大仙市農業振興情報センター研修生との相互交流の一環として実施しており、今後の相互交流時の意見交換の場が活発になるようファシリテーションスキルの習得を目的として行った。実施内容は以下のとおり。</p> <p>講師：まちづくりファシリテーター 平元美沙緒氏 アイスブレイク「グループ対抗 漢字いくつ書けるかな」 ワーク（意見交換）「良い話し合いの場とは？」 レクチャー「事例で紐解く 話し合いの場での困りごととその解決方法」 ワーク「『農業』を、『なりたい職業ランキング10位以内』にするには？」 レクチャー「農業経営における話し合いの事例」 ふりかえり「今日の気づき」</p>
成 果 と 課 題	<p>ゲーム形式のアイスブレイクにより、先輩後輩の関係も打ち解け笑顔になり、全体的に柔らかな雰囲気になった。生徒たちは実感として、話し合いの前段階としてのアイスブレイクの効果を理解できたようだ。また、これまでコロナ禍であまり実施できなかった授業時の話し合いも今年に入って増えてきているため、研修で学んだファシリテーションスキルをそうした場で発揮できるものと期待している。</p> <p>しかし、後日、実際の相互交流の場になるとなかなか主体的な立場に立えず、結局は研修生の方にリードされる場面が多く見られた。今後は、こうした経験を積んで、そのなかでこれらのスキルを自分のものにし、将来に渡って活用してもらえること期待する。</p>

- ※ 取組ごとに作成すること。  
 新聞記事の写しや実施状況を撮影した画像(4枚程度)を様式4に貼り付け、添付ファイルとして提出すること。  
 一つの画像データは、200KB以下にすること。  
 実施後、1か月以内に提出すること。

令和5年度ふるさと人材・地域づくり推進事業  
「持続可能な地域づくり充実事業」実施報告書

※一つの画像データは、200KB以下にすること。

学校番号	32	学校名	大曲農業高等学校	(全)・定)
------	----	-----	----------	--------



【アイスブレイクの様子】



【印象を与える自己紹介の様子】



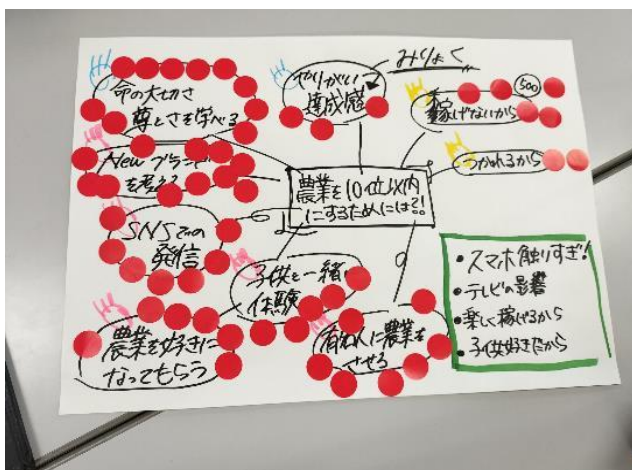
【レクチャーの内容の見える化】



【ワークショップの様子】



【アイデアに対するシール投票】



【投票後のアイデア用紙】